

出題分析			
試験時間	75 分	配点	150 点
		大問数	3 題
分量 (昨年比較)	減少	同程度	増加
		難易度変化 (昨年比較)	易化
			同程度
			難化
<p>【概評】</p> <p>例年通り大問 3 つで構成され、設問数は昨年より減少した。出題形式については、昨年に比べて語句記述問題が減少した一方、正誤判定問題が増加した。今年もヨーロッパやアメリカに関する出題が多く、南北アメリカ史に関する大問が昨年に続いて出題された。また、今年も古代史に関する出題がほとんどなかった点が特徴的だった。昨年のような史料読解を必要とする設問がなく、大問 I が解きやすい内容であったことを考慮すると、全体的な難易度は昨年よりやや易化したといえる。</p>			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	中世ヨーロッパ史	設問 1: (e). リード文の最終段落にある「北イタリアの有力都市は…… (e) 同盟を結成」をヒントに、40 のロンバルディアだと判断できる。設問 2: え。「カタカナ 4 文字」という指示があるため、自治都市と書かないように注意。設問 4: (ii). サーマーン朝やトゥールーン朝の成立時期を知らなくても、消去法で解答できる。設問 5: (イ). (b) ピサは内陸都市ではなく港市。	やや易
II	南北アメリカ史	設問 1: (h). やや難問。ボリビアと混同しないように注意。設問 2: (B). (a) アメリカはアメリカ＝スペイン戦争後に中国進出の遅れを挽回するために門戸開放宣言を出した。(b) ハワイではなくプエルトリコが正しい。ハワイはアメリカ＝スペイン戦争と同年の 1898 年に併合されたが、これはアメリカ＝スペイン戦争の結果ではない。(C). (b) やや難問。戦後のラテンアメリカの指導者は整理して覚えておきたい。(D). (b) ブラジルでは 1889 年に帝政が崩壊し、共和政に移行した。設問 3: (カ). やや難問。カランサ派によってサパタは 1919 年に、ビリャは 1923 年に暗殺された。	標準

III	近現代中国史	<p>設問 1 : (a). 20 の租界と混同しないように注意。租界は特権が認められた外国人居留地のこと。イギリスの上海租界などが代表例。一方、租借地は条約によって他国から借り受けた領土のことで、期限付きで貸与されることが多かった。(e). 解答としては 16 の『新青年』を選べばよいが、1915 年の創刊時点での雑誌名は『青年雑誌』であり、『新青年』に改称されたのは 1916 年である。設問 3 : ①. やや難問。孫文ら革命派と梁啓超ら立憲派は激しい論争を繰り広げたため、Y は正文。中華民国は外モンゴルの独立を認めず、ロシアの介入を受けた結果、中華民国の宗主権下で外モンゴルの自治が認められたため、Z は誤文。設問 4 : 2. 下関条約の内容である。3. 当初、この内容は秘密交渉であり欧米列強には伏せられていたが、中国政府がこの要求内容を公表した結果、最終的に日本政府はこの項目を削除した。設問 5 : 3. 中国代表団はヴェルサイユ条約の調印を拒否した一方、オーストリアとのサン＝ジェルマン条約に調印して国際連盟に加盟した。設問 7 : (b). 大韓民国臨時政府は、1919 年の三・一独立運動の影響を受け、その直後の同年 4 月に上海で成立した。経緯さえ理解していれば迷わず解答できる。設問 8 : 1. 国共両党の指導を受けた五・三〇運動は、上海での労働争議をきっかけに拡大した。</p>	やや難
-----	--------	--	-----

合格のための学習法

同志社大学の入試世界史は、標準レベルの知識で解答できる設問が比較的多く、極端な難問は少ない。また、毎年ほとんどの日程で正誤判定問題が扱われるが、多いときは 15 問以上出題されることもあるため、過去問演習を通じて正誤判定問題の対策を万全にしておきたい。語句記述問題も毎年出題されるため、漢字用語を正確に書く練習をするのはもちろんだが、カタカナ用語の表記にも気を付けたい。例年、同志社大学は入試講評で受験生の漢字やカタカナ表記に対する注意喚起を行っている。判別できない字は誤答とみなされる可能性があるため、油断しないようにしたい。加えて、同志社大学の入試は解答用紙が独特であるため、特に記号問題は解答欄を間違えないように細心の注意を払ってほしい。